

「東北に先駆的地域を作り、復興を果たしたい。海外からも注目される目玉政策を一つでいいから、早く作り出すのが大事だ」

宮城県震災復興会議の委員、情報・通信会社イマジニアの神蔵孝之会長(55)はそう考える。

政治家志望で松下政経塾(2期生)に入ったが、経営の道に転じ、ベンチャーを上場企業に育てた。今は同塾理事を務め、多くの塾出身者が頼る。県復興会議委員も、同塾13期生の村井嘉浩知事が依頼した。本業の合間に足を運ぶ被災地では、将来の生活に不安を持

「人間大事」の思いで復興

神蔵 孝之 さん



つ人が多いと感じ、法人税減税特区など雇用につながる政策を提案する。

震災後、同塾創設者の松下幸之助氏から受けた「人

間大事」の教示を思い出すことが増えた。「『理』の後に必ず『情』が添えられる。一人一人の人間を大事

に思う考え方がこういう時

だからこそ必要だと思う」からで、「人間大事」の思いで、東京と東北を往復する日々だ。(文・望月公一、

写真・清水敏明)

